

ふじのくに

グローバル人材

育成事業

成果報告

2020年度



ふじのくにグローバル人材育成基金で  
若者や教職員の「海外での学び」を応援しています



静岡県教育委員会

# 目次

1	ふじのくにグローバル人材育成事業概要	P 2
---	--------------------	-----

2	事業内容	P 3
---	------	-----

3	グローバルハイスクール	P 4
---	-------------	-----

学校の特色を活かした課題研究を中心に海外の大学や研修機関と連携してフィールドワーク等を実施する学校を指定し、令和2年度 of 取組をまとめました。

学校名	期間
浜松湖南高等学校	令和2年度から令和3年度まで
西遠女子学園	令和2年度から令和3年度まで

4	長期留学	P 6
---	------	-----

海外の教育機関等における留学体験について、令和元年度参加者の感想等をまとめました。

学校名	氏名(敬称略)	滞在国・地域	期間
沼津東高等学校	山崎 広宝	ドイツ	R1. 8~R2. 3
浜松南高等学校	佐藤 瑛梨香	スペイン	R1. 9~R2. 6
不二聖心女子学院	土屋 こころ	チェコ共和国	R1. 8~R2. 3

5	海外を体験した高校生の5年後の姿	P 9
---	------------------	-----

基金創設時（平成28年度）に本事業により海外を体験した高校生を取材し、これまでの5年間を振り返ってもらいました。

参加プログラム	学校名(当時)	氏名(敬称略)	滞在国・地域	期間
大学連携留学	静岡高校	山本 健博	アメリカ合衆国	H28. 8. 7~ H28. 8. 21
	富士高校	本田 理梨子		
海外インターンシップ	島田商業	小田 しずく	台湾	H28. 8. 23~H28. 8. 26
	浜松城北工業	伴 仁香		

# 1 ふじのくにグローバル人材育成基金の概要

グローバル化が急速に進展する中で、高校生をはじめとする若者の海外留学や研修等を通じた、「世界に目を向けながら地域社会の発展に貢献できる」人材の育成が求められています。

また、子どもたちの海外に対する知的好奇心を養うためには、国際感覚豊かな教職員による教育も重要です。

静岡県教育委員会では、2016年4月に「ふじのくにグローバル人材育成基金」を創設し、一人でも多くの高校生や教職員の「海外で学びたい」という希望を実現させるため支援しています。

## 国際感覚豊かな人材の育成

## ものづくり県の時代を担う人材の育成

### 海外体験（留学）

高校生が意欲を持って、自ら進んで参加する留学の経費を支援します



### 海外インターンシップ

県内企業の海外事業所等における就労体験事業を支援します



### グローバルハイスクール

特色のある先進的なグローバル教育を展開する指定校を支援します

### ものづくり世界大会

ものづくり等の世界大会に参加する高校生を支援します

### 教職員の海外研修

海外の教育機関等において、指導力や専門性を向上させるための研究に取り組む教職員を支援します



### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



Sustainable Development Goals (SDGs) とは、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指す、国際社会全体の開発目標です。経済・社会・環境をめぐる課題について、17の目標と169のターゲットが示されています。

県教育委員会の取組は、主に目標4「すべての人々への包括的かつ公平な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」に該当しています。

## 2 事業内容

2016年度から2020年度までの5年間で約800人の高校生及び教職員の海外留学等を支援しました。

年度	2016実績	2017実績	2018実績	2019実績	2020実績
派遣人数	97人	230人	222人	154人	82人
事業費	18,879千円	37,993千円	36,636千円	36,601千円	4,527千円

区分		内容	2020年度実績
高校生の海外体験促進(留学)	長期留学	海外の教育機関等で語学などの専門分野の留学を体験 【期間】1年程度 【上限】30万円	募集中止
	大学連携留学	県内大学と連携して、大学が実施する各種留学・語学研修等に参加 【期間】1週間以上1か月程度未満 【上限】30万円	募集中止
	短期留学	学校、市町、NPO等の民間が実施する語学研修、ボランティア活動等に参加 【期間】1か月程度未満 【上限】30万円	募集中止
教職員の海外研修		教職員が海外の教育機関等で専門分野や現代的な課題の研究等を実施 【期間】1週間以上1か月程度未満 【上限】50万円	募集中止
グローバルハイスクール		学校の特色を生かした課題研究を中心に、海外の大学や研修機関等と連携してフィールドワーク等を実施する学校を指定 【指定期間】2年程度 【上限】300万円	3校82人 ※海外派遣無 オンラインによる交流等 藤枝西 浜松湖南 西遠女子学園
海外インターンシップ		県内企業の海外工場における就労体験等を実施 【対象】専門高校等の生徒 【期間】国内(2日間) 海外就労体験(3泊4日) 【県実施】全額県負担	募集中止
ものづくり等の世界大会		ロボット競技等のものづくりに関する世界大会へ参加 【対象】専門高校等の生徒 【上限】30万円(国内開催は10万円)	募集中止
計			82人

※ 2020年度は新型コロナウイルス感染症対策として、生徒及び教職員の海外派遣を伴う事業は、原則中止となりました。

### 3 グローバルハイスクール

地域における国際交流や異文化理解・多文化共生を推進する人材の育成  
(浜松湖南高等学校)



#### グローバル教育の概要

浜松湖南高等学校は、県内で唯一の英語学科併置の公立高校であり、地域の英語教育及び国際交流教育の拠点校である。「道具としての英語学習」へ発展させるため、令和2年度よりグローバルハイスクールの指定を受けている。同年4月に設置した校内カリキュラム研究委員会において、防災教育と国際交流活動・異文化理解教育を柱とした探究活動を構築している。

#### 令和2年度の取組

##### 【防災教育】

- 1 令和元年度に静岡県被災研修に参加した生徒を中心に防災委員会設置(4月)
- 2 1、2年防災委員が静岡県地震防災センター見学(8月)  
防災訓練終了後に防災委員長による同研修報告(1月)
- 3 英語科2年生対象に「外国人との共生の課題」についての講演開催(9月)
- 4 英語科2年生が外部講師を招き「災害時の外国人支援」のワークショップやクロスロード(被災地研修ゲーム)を体験(11月)
- 5 県立清水南高等学校(平成30・31年度静岡県学校防災推進校)を総務課(防災担当)教員が訪問(11月)・職員会議で報告(12月)
- 6 1、2年防災委員がHUG(避難所運営ゲーム)研修受講(12月)

##### 【国際交流活動・異文化理解教育】

- 1 総合的な探究の時間を利用して、全1年生が英国姉妹校(ヘンドン校)について学習(4月)
- 2 英語科2年生が「異文化理解」の授業で県立大学遠隔授業を体験(7月)  
\*ネイティブ教員参加・英語科2年生視聴【写真参照】
- 3 英語部制作の英字新聞をヘンドン校へ送付(11月)【写真参照】
- 4 英語科2年生のオーストラリア語学研修を国内語学研修(富士ランゲージ・ビレッジ)に変更して実施(12月)
- 5 英語科・普通科希望生徒によるエンパワーメントプログラム実施(12月)
- 6 ハリウッド在住脚本家とZOOMによる対話(1月)



### 3 グローバルハイスクール

現実と仮想のコミュニケーションを融合した地域と世界の課題探究  
(西遠女子学園)



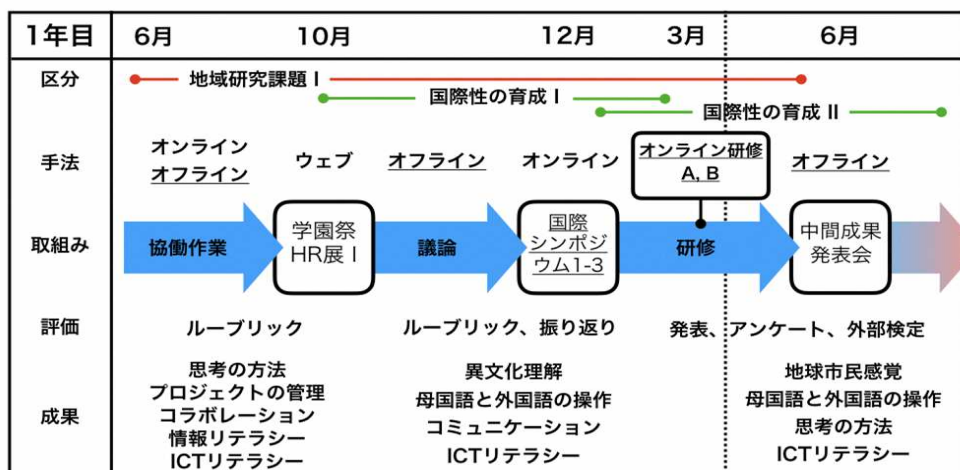
#### グローバル教育の概要

本校では、30年以上に渡り学園祭におけるクラス研究展示（HR展）を課題探究型学習として深化させてきた。この数年は、生徒自身が「遠州」という地域から課題を見出し「世界」に成果を発信できるテーマ設定を行い、外国人審査員による評価の導入など、国際教育の一環としての位置付けも強化してきた。

今年度は、コロナ禍の中、オンライン学園祭を実施した。各クラスがインターネット上で研究課題を公開し、HR展の英語ページも作成することで、外国人審査員を含め9か国以上からのアクセスがあった。この英語版オンラインHR展のページを用いて、豪州提携校の生徒とSDGsなどをテーマとした意見交換を3回実施した（1回は2月実施予定）。

#### 令和2年度の取組

- 1 地域研究課題 I (6-10月)
  - オンライン学園祭の実施
  - (1) オフラインとオンラインで21世紀型スキル（思考の方法、プロジェクト管理、コラボレーション、情報リテラシー、ICTリテラシー）を活用して探究活動を行い、HR展をインターネットで公開
  - (2) HR展のために評価ループリックを開発し、形成的評価を実施  
インターネットを活用し、審査員（延567人）、外国人審査員（9人）によるオンライン審査を実施
- 2 国際性の育成 I (10-2月)
  - テレカンファレンスシステムを利用した国際シンポジウムを開催し、豪州提携校の同世代生徒とZoomにより、HR展研究テーマについて情報交換や議論
  - (1) 11月18日（水）第1回 国際シンポジウム Our Lady of Mercy College校
  - (2) 12月1日（火）第2回 国際シンポジウム St. Patrick's College校
  - (3) 2月下旬 第3回 国際シンポジウム Mary Mackillop Catholic College校
- 3 国際性の育成 II (3月)
  - 海外研修に代わるオンライン研修プログラムの開発と実施 ※2021年3月実施予定
  - (1) プレゼンテーション・ファシリテーションスキルアッププログラム
  - (2) 同世代間異文化交流プログラム



※アンダーラインの部分は、コロナ禍のため内容を変更した

## 4 長期留学

静岡県立沼津東高等学校 2年  
山崎 広宝



令和元年8月～  
令和2年3月

留学先：ドイツ



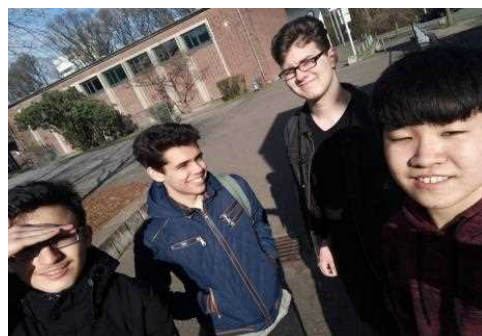
### 目的・応募理由

現地でホームステイしながら留学し、自分と異なる価値観を持つ人に出会い、視野を広げたいと思いました。多くの人との触れ合うことで、語学力だけではなく、現地の文化、歴史を学び、様々なチャレンジや体験を通じて、より柔軟に、より逞しくなり、将来、グローバル社会に貢献したいと思ったからです。

### 研修内容等

ドイツの学校では、どれだけ自分の意見を言えるかが評価に直結しているのので、授業では全員積極的に手を挙げて発表し続けます。発表内容は間違えていることも多くあるのですが、それよりも自分の考えを持っていること、発することの方が重要でした。議論をしている時に何も意見を言わないと「この人は何も考えていないんだな」と思われるほどでした。日常生活でも「どちらがいい？」と簡単な選択を求められた時、日本人らしく「僕はどちらでも大丈夫」と発言をすると、よく友達や家族に「結局あなたは何がしたいの？」と言われたりしました。

だから、必然的に自分の意見を持つために深く考えることが増え、以前より自分の意見をしっかり言えるようになりました。グローバル社会の中では「自分というものを持っていて、自分の意見をしっかり言えること」が大切であるということは、留学前から感じてはいましたが、体験してみて、本当に大切なのだと痛感しました。



### 感想等

僕の留学は、期間の途中でコロナウイルスの拡大により緊急帰国となりました。今でも思い出すと悲しみが溢れてきますが、このような体験をしたのは、過去の留学生の中でも僕らだけだとも感じています。「体験は全て自分の力になる」。とても皮肉なことですが、今はそう思っています。そして悔しかったからこそソリベンジをするために、まずは日本で夢や目標を達成しようと思っています。また、僕のこの体験を活かすためにも、日本で多くの人に僕の留学談を伝えていきたいと思っています。

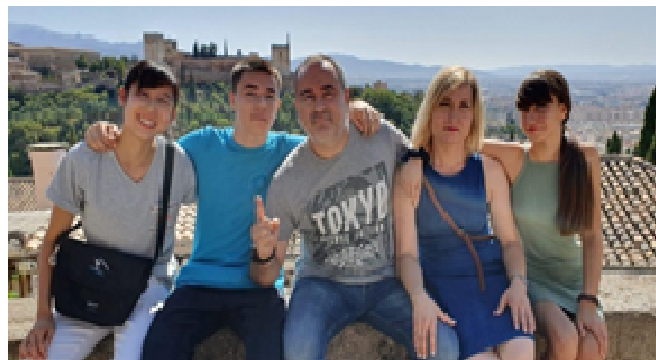
## 4 長期留学

静岡県立浜松南高等学校2年  
佐藤 瑛梨香



留学先：スペイン

令和元年9月～  
令和2年6月



### 目的・応募理由

英語以外の言語として、スペイン語を実際に人々が使っている場で習得したいと思いました。また、将来、栄養関係の仕事に就きたいと思っており、その地域の食(栄養)について、日本と比較したいと思いました。さらに、現地の方々と接することで、自分がどう成長し、どう変化していくかを見付けるために留学したいと思いました。

### 研修内容等

週3回、スペイン語クラスがあり、移民の子達が集まってスペイン語を勉強しました。クラス内では、みんなでそれぞれの母国語を教えあったり、言葉で遊んだりもして、最後には、1つの家族のような関係を作ることができました。積極的に人と接することで、言語を修得することができるんだと、改めて知ることができました。そして、言語を修得するにあたっては、どんな人にも心を開いて接していくことが大事だと学びました。



スペインの昼食は15時で、それまでに学校が終わるため、家族全員で家で昼食を取ります。みんなで一緒に時間をかけて昼食を食べることは、日本ではなかなかないので、とても新鮮で、スペインは家族と過ごす時間をとても大切にしているんだなと思いました。日本よりも時間がゆったりと流れている感じがあって、このような過ごし方もあるのだとスペインに行き気がしました。

### 感想等

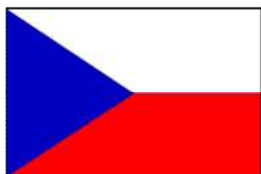
留学中は、想定外なことが起こり、思うようにいかないところもあったけど、私なりに試行錯誤して乗り越えてきました。悲しいことや、辛いことがありましたが、考えて行動したから楽しいことも待っていたし、今の私があります。これからどんなことがあろうと、乗り越えていける大きな糧となりました。また、将来は栄養関係の仕事に就きたいと思っており、スペインの食についても実際に肌で感じながら、学ぶことができました。

約1年間、とても貴重な経験となりました。それも留学に行かせてくれた家族、応援してくれた仲間、最後まで受け入れしてくださったスペインの家族、一緒に居てくれたスペインの友達など、たくさんの方々の支えがあったからです。出会えたすべての人に、心の底から感謝しています。



## 4 長期留学

不二聖心女子学院高等学校 2年  
土屋 ころこ



令和元年8月～  
令和2年3月

留学先：チェコ共和国



### 目的・応募理由

留学を通して異文化に触れ、新たな経験をしたいと思いました。視野を世界へ広げるとともに、住み慣れた場所を離れることで、別の視点から日本を見る機会にしようとも考えました。また、異なるルーツを持つ人たちと対等にコミュニケーションするための英語力に加え、プラスアルファの語学力を身につけたく、留学を決意しました。

### 研修内容等

Adamcikovi家に滞在しながら、現地校 Gymnázium Kroměřížの6年(高2相当)に在籍し、チェコ語で授業を受けつつ、チェコ語の補習のため週2～3回、語学学校にも通いました。

チェコ語の先生は、日本に長く住んでいらしたため、私が日本語で相談できる数少ない相手の一人でした。授業ではチェコの文化や伝統、歴史なども詳しく教えてくださり、毎回、あっという間に時間が過ぎました。ツアーガイドや翻訳、通訳などでも活躍されている先生のお話は、日本と世界を繋ぐ仕事がしたい私にとって、とても刺激的で貴重なものでした。たくさんの方の相談させていただき、先生との関わりの中で、私は自分の将来をより明確に意識するようになりました。



### 感想等

今回の留学において、私は様々な価値観を知り、それを受け入れる大切さ、忍耐力、他言語で話す勇気とスキル、自分の主張をしっかりと持つこと、とにかく楽しむことなど、数えきれないほどのことを学びました。

楽しいことばかりではありませんでしたが、壁にぶつかるたびに友人、先生、家族、たくさんの方が手を差し伸べてくれました。日本を出て一人異文化に身を置くことで、今まで知らなかった自分にも出会いました。

また、新型コロナウイルスにより、いつ何が起こるかわからないということ、予測不能の事態への対応力の重要さも身をもって実感しました。

チェコ留学は多くの方の支えと応援があったから経験できたということを中心に留め、これからも前進していきたいです。そして成長した私の姿をいつか胸を張ってお見せできるように、今回の経験で培ったものを大切に育てていきたいです。

## 5 海外を体験した高校生の5年後の姿

大学連携留学

留学先 カリフォルニア州立大学サクラメント校(アメリカ合衆国)  
期 間 平成28年8月7日(日)～21日(日)

東京外国語大学 国際日本学部  
静岡県立静岡高等学校(当時)  
山本 健博



### この事業がきっかけとなって成長できたこと

学校で勉強した英語が実生活で使えたという実感により、英語への興味がより強くなり、学習意欲が高まりました。またルームメイトに韓国人留学生がおり、話をする中で歴史観のズレを感じ、日韓関係に問題意識を抱きました。

それまで「世界で活躍するビジネスマンになりたい」と思い、大学は経済学部を目指していた私ですが、むしろ自分は国際系の学部に進むべきではと考えるようになりました。大学生になった今振り返って考えると、当時の判断は正しかったと思います。

### これから5～10年後の展望(将来像、取り組みたいこと)

新聞記者として働き、光の当たらない人々や問題を取り上げたいです。なぜなら多数派の意見が反映される民主主義の中、ジャーナリズムによる批判によって、軽視されやすい少数派の権利は守られていると私は考えているからです。もしくは、将来的に海外で働くことも、選択肢の一つとして考えております。何になるにせよ、自分がやりたいと思い、かつ人のためになるような仕事に就けていければ嬉しいです。

慶應義塾大学 法学部  
静岡県立富士高等学校(当時)  
本田 理梨子



### この事業がきっかけとなって成長できたこと

本プログラムは私にとって、「大学で勉強したい」と心から思うきっかけになりました。現地での学びを通じてはじめて「大学」というところをしっかりと認識し、また、「グローバル」や「国際」という言葉により強い興味と関心を持つようになったからです。さらに、留学時には必ず求められる「主体的な行動」を実践できた経験から、「自分から行動すること」や「自分の芯を強く持つこと」が悪いことではないと心から納得できるようになりました。このような姿勢は、その後の人生でも自分の生き方の軸となり、現在でも私に大きな影響を与えています。

### これから5～10年後の展望(将来像、取り組みたいこと)

「グローバル」や「多様性」といった環境・職業で働けるように、具体的な進路をもう少し熟考したいと思っています。しっかりキャリアを積んで、いつかは自分も次世代の「グローバル人材」育成に携わりたいともっています。

## 5 海外を体験した高校生の5年後の姿

### 海外インターンシップ

研修先 台湾山葉機車工業有限公司新竹工場(台湾)  
期間 平成28年8月23日(火)～26日(金)

静岡大学 人文社会科学部 経済学科  
静岡県立島田商業高等学校(当時)  
小田 しずく



### この事業がきっかけとなって成長できたこと

高校生の頃の私は、海外に対する興味関心が薄かったのですが、当時、行っていた地域活動で視野を広く持つて考えることの大切さを学び、全く触れたことのない海外の価値観や文化について知りたいと思うようになり、このプログラムに参加しました。海外体験後は、以前よりも外国人との交流に興味を持つようになりました。実際に、大学では海外の方と話したりスポーツをしたりするサークルの活動に参加しています。

### これから5～10年後の展望(将来像、取り組みたいこと)

私は5～10年後は会社員として働いていたいと考えており、海外の方々と積極的に関わりを持ちながら、その多種多様な価値観を受け入れられる人でありたいと考えています。そのため、会社員をしながら、今行っている静大フューチャーセンターのような幅広い年齢層、さまざまな立場の方たちと関わる活動を継続していこうと考えています。

株式会社 デンソー 工機部  
静岡県立浜松城北工業高等学校(当時)  
伴 仁香



### この事業がきっかけとなって成長できたこと

元々内向的だった性格が外向的になりました。初めての海外でほぼ初対面の仲間と海外のインターンシップを共にすることで自分の意見や意思を伝えられるようになりました。

また、様々なことにチャレンジできるようになりました。海外インターンシップを経験する前は海外に対する恐怖心があったのですが、行ってみると非常に新鮮で楽しかったです。それから自分で勝手に無理だと決めつけるのではなく、何事にもチャレンジするようになりました。

### これから5～10年後の展望(将来像、取り組みたいこと)

頂いた仕事を全力で取り組み多くのことを吸収して一人前になり、5年後、10年後は後輩への指導や職場の仲間との助け合いを通して技術面だけでなく人間的にも成長していきたいです。また、国内外に出張がある職場なので自分が慣れていない環境でも現地の方とコミュニケーションをとってどんな場所でも一流の作業員として仕事ができるようになりたいです。

支援企業・団体一覧 (2016年4月～2021年3月)



● 公益財団法人 ●  
ほぞんも教育研究奨励会

明産株式会社

一般社団法人

静岡県信用金庫協会



スルガ銀行

静岡県遊技業協同組合

国際ソロプチミスト駿河

*Dream with you.*



静岡銀行



Z-KAI Group



清水銀行



**Kobayashi**  
富士から世界へ 小林製作所



清水埠頭株式会社



Shizuoka Information Processing Center  
株式会社静岡情報処理センター



公益財団法人  
日本教育公務員弘済会  
静岡支部



田子の浦埠頭株式会社

**Jatco**



清水コンテナターミナル  
株式会社



NTT西日本



Shizu  
tetsu

街にいろどりを。人にとぎめきを。

沼津埠頭株式会社



静岡新聞 SBS

フコフイル 日興製薬株式会社



net one

富士トラック株式会社

有限会社  
メディカルアイカイ



百年住宅

pure natural  
APPLE HOUSE



浜松光電株式会社

浜松バス株式会社



松葉倉庫  
株式会社

静岡県高等学校長協会／静岡県高等学校等副校長・教頭会／静岡県公立高等学校事務職員協会  
／学校関係団体（同窓会、後援会等）／ふじのくに応援寄附者（個人支援者）